

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス豊見城教室別館(単位Ⅱ(こののは別館))			
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 7日		～	令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 7日		～	令和7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)	2
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 2月 7日		～	令和7年 2月 28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	6	(回答数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	セラピストが常勤しているので訪問の様子を交えて評価しやすい環境である。	いろんな視点での評価ができる様、セラピストも同行するなどの対応もしている。	通所事業所の職員と情報共有は今後もこまめに行っていく。
2	社内での月に一回の会議があることで他の教室の事例検討も行いやすい。	実際に共有が難しい場合もzoomや議事録の共有を行い、相談しやすい環境である。	引き続き会への参加をしていけるよう事業所での調整をしていきたい。
3	保育所等訪問支援と児童発達支援を併用している事から園での過ごし方や事業所での過ごし方を比較して評価する事ができる。	園や事業所にて取り組める支援方法や対策等を工夫しています。	訪問先と事業所での過ごし方を共有し、専門職等と相談・検証しより良い支援につなげたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	申し送りや情報共有の時間をしっかりとることが難しい面があった。	訪問を職員一人が行っていたので時間の確保が難しかった。	訪問時間の中で共有する日を設けるなど園と連携を取りながら決めていく。また訪問員を増やすなどして対応している。
2	保育所等訪問を担当する職員の人数が少ない。	職員のスキル等にて不十分な部分があり訪問支援員の確保が難しい。	定期的に法人内にて保育所等訪問の困り感等を共有しており、職員の勉強会を充実させていきたい。
3	SNSやブログ等にて訪問の様子を紹介する事が出来ていない。	事業所での様子等は紹介する事は出来ているが、訪問先の場合不特定多数の児童が写真を取る事が難しい為紹介する事ができない。	訪問先や保護者へ写真等の確認や許可を取り、個人情報の取り扱いには注意しながら紹介をしていきたい。